



JALグループが取り組む「4つの領域/22の課題」それぞれに中期目標を設定し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指し、SDGsの達成に向けたESG経営を推進していきます。

ESG	4つの領域	22の課題	主な取り組み項目	成果指標	FY19実績	FY20実績	FY25目標	貢献するSDGs		
E 環境		気候変動への対応	CO ₂ 総排出量の削減	スコープ1 [航空] 排出量	909万トン	439万トン	909万トン未満	経営目標	 	
				スコープ2 [地上施設] 排出量	5.7万トン	5.1万トン	5.4万トン			
				省燃費機材の割合	82%	84%	86%			
				全燃料に占めるSAFの搭載割合	(A350デリバリー5機全機に搭載)	0%	全搭載燃料の1%			
				JAL Green Operations (運航の工夫によるCO ₂ 削減) 推進による削減量	15.7万トン (排出量の1.7%)	8.2万トン (排出量の1.8%)	航空機から排出するCO ₂ 排出量の2.5%に相当する量の削減			 
		限られた資源の有効利用	プラスチックの削減	客室とラウンジにおける自社規格品の「新規石油由来」使い捨てプラスチック削減率	2.5%	FY21中に開示	100%	経営目標	 	
				空港における受託手荷物に利用する使い捨てプラスチックの環境配慮素材利用率	*FY20より開始	36.3%	100%			
				貨物輸送に使用する使い捨てプラスチックの環境配慮素材利用率	91%	90%	100%			
			機内食廃棄量の削減	国際線機内食事前サービスの展開路線数	*FY20より開始	2路線	全路線			 
				調理残渣のリサイクル率	7.7%	28.0%	100%			
	紙の削減	貨物上屋内ペーパーレス化	*FY20より開始	-	JAL便のペーパーレス完了					
	環境汚染の予防	産業廃棄物の削減	最終処分率	0.3%	0.6%	1%以下を維持				
	騒音の低減	低騒音機材での運航	ICAO Chapter 4 基準相当機材率	100%	100%	100%				
	生物多様性の保全	野生生物の違法取引の防止	違法な野生生物の輸送回数	0回	0回	0回				
		認証取得済み商材の活用	FSC® 認証紙を利用している機内アイテム数の割合	24.2%	66.5%	100%				



JAPAN AIRLINES

ESG	4つの領域	22の課題	主な取り組み項目	成果指標	FY19実績	FY20実績	FY25目標	貢献するSDGs
S	人	アクセシビリティの向上	移動にバリアを感じているお客さまの搭乗促進	左記のお客さまの搭乗率	0.36%	0.29%	FY19実績対比2.5倍	
				金属探知機に反応しない木製車いすの数	478台	478台	FY21中に開示	
		ワークスタイル変革	労働生産性の向上	総実労働時間数	1,862時間	1,878時間	1,850時間	
				年休取得率	79.0%	71.5%	100%	
				時間外・休日労働の月間平均時間数	9.5時間	8.0時間	4時間 (年間総実労働1,850時間と連動)	
			多様な働き方の推進	テレワーク実施のべ人数	36,352人	640,579人	実績管理	
				ワーケーション・フリージャー制度利用件数	247件 (ワーケーションのみ)	FY21中に開示	実績管理	
		D&I推進	多様な人財の活躍推進	障がい者雇用率 *1	2.62%	2.67%	法定雇用率の推移を見ながら改めて策定	
				女性管理職比率 *2	18.4%	19.5%	30% 経営目標	
				介護休職制度利用人数	53人	40人	実績管理	
		人権の尊重	人権デューデリジェンスの実施	課題への対応 (PDCA確立と適正な運営)	-	-	重点課題の特定とその改善計画の実施	
		人財育成	社員研修の充実	一人あたりの研修時間数	72.3時間/人	277.1時間/人	実績管理	
				一人あたりの研修費用	449,480円/人	109,321円/人	実績管理	
		健康経営	健康診断受診率の向上	社員の受診率	100%	100%	100%を維持	
				家族の受診率	37.5%	FY21中に開示	75%	
			婦人科検診受診率の向上	乳がん検査受診率（家族等を含む）	36.7%		70%	
				子宮がん検査受診率（家族等を含む）	30.7%		70%	
		感染症拡大の防止	医薬品輸送の充実	輸送重量	610トン	721トン (FY19対比+18%)	FY19実績対比 +50%	

*1：日本航空株式会社と特例子会社 株式会社JALサンライトの合算値

*2：JALグループ全体の値



JAPAN AIRLINES

ESG	4つの領域	22の課題	主な取り組み項目	成果指標	FY19実績	FY20実績	FY25目標	貢献するSDGs
S	地域社会	インバウンド誘致	訪日外国人の国内線の利用促進	利用人数	701,240人	FY21中に開示	1,505,000人	 
		地域活性化	観光系客体の地域送客の増加	増加率	-	FY19実績対比 25.8%	FY19実績対比 + 10% 経営目標	
		被災地への復興支援	災害支援	チャリティマイル寄付金額	¥9,208,500	¥11,328,500	実績管理	 
		路線ネットワーク拡充	離島路線をはじめとした地域路線ネットワークの維持・発展	国内線乗り入れ地点数（含むコードシェア）	62地点	61地点	62地点以上	
		移動の利便性向上	ドローン物流・空飛ぶクルマエアタクシーの事業化	事業化の実現	-	-	FY23：ドローン物流事業化 FY25：空飛ぶクルマ事業化	 
		社会貢献活動	ボランティア参加の促進	参加人数	7,745人	9,772人	実績管理	
				合計時間	51,734時間	33,600時間	実績管理	
				次世代の育成	空育®の参加人数 *3	191,840人	20,435人	実績管理
G	ガバナンス	公正な事業行動の推進	コーポレートガバナンス・コードへの適合	適合率	100%	100%	100%を維持	
			取締役会の機能向上	社外取締役比率	30%	30%	3分の1以上	
			取締役および監査役の取締役会出席率	98.3%	100%	80%以上を維持		
			情報漏えいの防止	インシデント発生数	0件	2件	0件	 
			汚職贈収賄の防止	発生件数	0件	0件	0件	
		責任ある調達活動の推進	主要サプライヤーの健全性確認率	18%	37%	100%		
			サプライチェーンマネジメント 全ケータラー工場・機用品庫の管理 定期航空保安監査回数	2回	2回	2回		
		BCMの強化	BCPの実効性向上	BCPに基づく演習の実施回数	1回	1回	2回	
		情報開示	企業サイト サステナビリティページの 情報発信強化	閲覧数	765,912	786,229	1,000,000以上	

*3：空の素晴らしさに触れることで、自分の未来や日本・世界、そして地球の未来を考える機会を提供する目的の活動